



寝取

られる

妻女

「あなた、
許して...」

この
不倫

は

夫

のため

ころすけ

6



寝たフリをしたんだ…



そ…それじゃ…

ああ見た…
君が…

まさか…
君が…

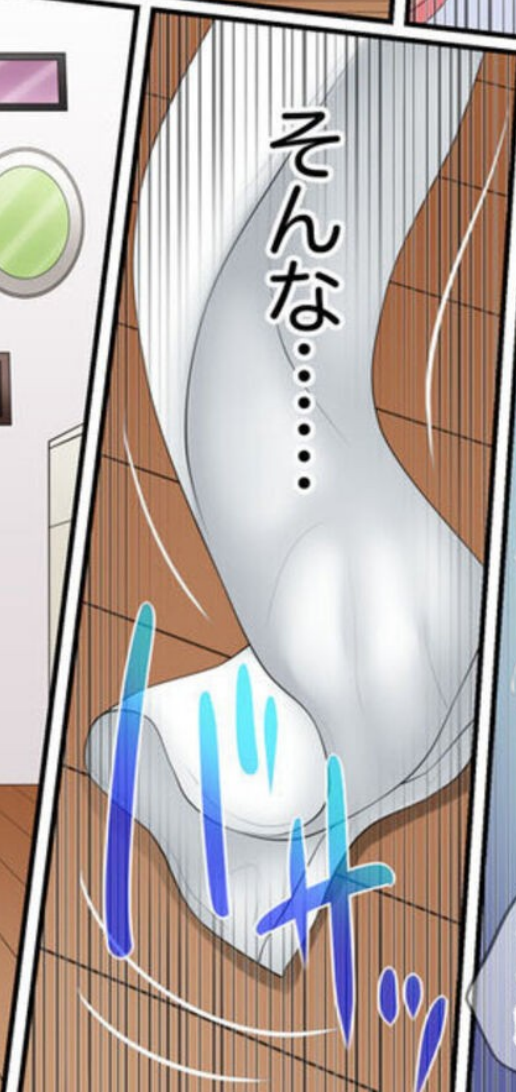


知之さん!?

お起きてたん
ですか!?



そんな…



君があんなに興奮して
乱れるところなんて
初めて見た…

っっ!!

ウソ…

知之さんに
見られてた
なんて…

『だからお前は何も悪くないんだ』

『雪音はただ俺に襲われたんだ』

……言えない……

ズカッ

例え鶴野さんの
せいにしても…

知之さんは…
仕事を失ってしまう!!

私のせいでこの先
めちやくちやに…!!

ごめんなさい!!

ごめんなさい
知之さん!!

ふふふふ……

ポタ

ポタ

私の…

痛いよ…

心が痛い…

こんなにも
なのか…

最愛の人が
他の男に抱かれる
様を見るなんて…

ううっ！
うっ…

パタン…

パタン

ごめんなさい…

ごめんなさい…

ジャン

ジャン

!?



謝らないでくれ…

頼むから…



でも君の犯した
罪も事実だ

そんな君に対して
僕は罪悪感なんて
感じたくない！



僕は…

僕はむしろ…

君に謝る立場
かもしれない…

だから
謝らないでくれ!!

と知之さん
それはどういう…

……？

つつ!!…

ズケッ



!?

きゃああつ!

...





っっ!?

ズルッ

ゼンッ

ゼンッ

ズンッ
ズンッ

と知之さん?

...知之さん!

知之さん!

ズンッ
ズンッ

ズンッ

一体...何が
言いたいんですか?

わ...
わかりません...私...

な何を...!!



す…す…すぐ
硬い…

…それに…



…あああ！

大きい…！



うっ…

うああっ！



雪音ちゃん…

あっ！



不倫を

続けてくれないか



うっ！

謝らなくて
いいから…

…だから…

あ…



.....

とっ...
知之さん!

ううっ...ま...

ふんふん...

そのままの意味だ

...えっ...?

待って...

あっ!

...変える
必要はない!

何もっ...

うっ!

あああっ!...

うあっ!





僕の為に…



不倫を続けてくれ



鶴野くんから…

僕のための
ネタ作りだって



言われてたんだらう？



わかりません…

言ってる
意味が…

バシてたんだ...

最初から全部…!!

僕はもう…

作品を書けない…

僕はもう…

作品を書けない…

鶴野君の
言う通りなんだ

だから...

そのために君は
不倫を続けてくれ

だ 鶴野君には
内緒で…



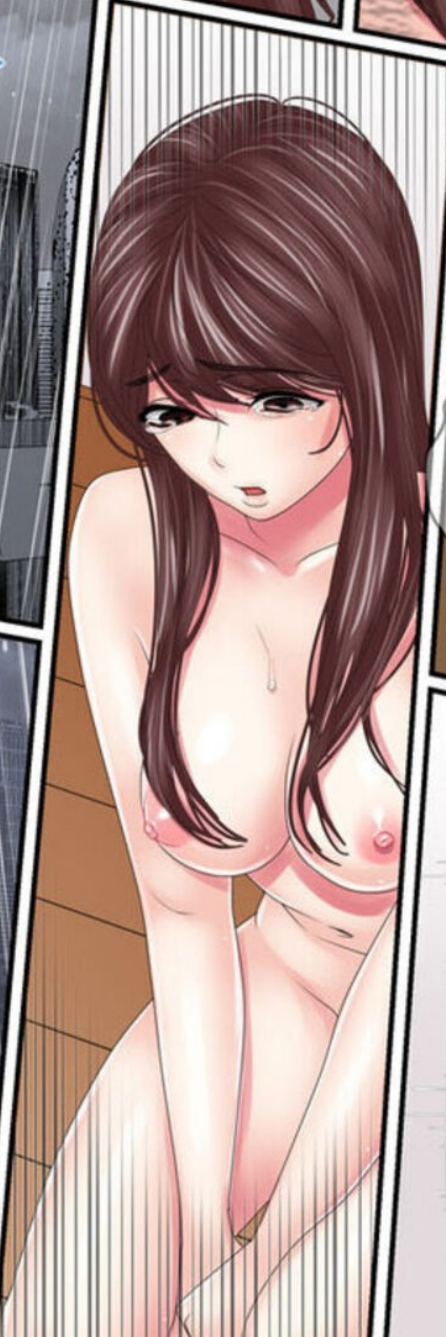
だから君が不倫している様子を見て

それを小説にする



だから君が不倫している様子を見て

それを小説にする



それからいつの間にか
数日が経っていた

私はまだ

あの夜起ったことが
飲み込めずにいる

あれから頭を冷やすと
言ったまま

知之さんは家を出て
帰って来ない

すごい雨…

大丈夫かな？
知之さん…

知之さんからは

00:00 10
友之さん 今日
数日で戻るから搜索願は
出さなくてもいいよ。
少し時間が欲しい。

わかりま

…と連絡が
あったきり

それ以外は電話にも
出てくれない

もしかすると隠れて私を
見張ってるんじゃないか？

…なんてことまで
考えてしまう

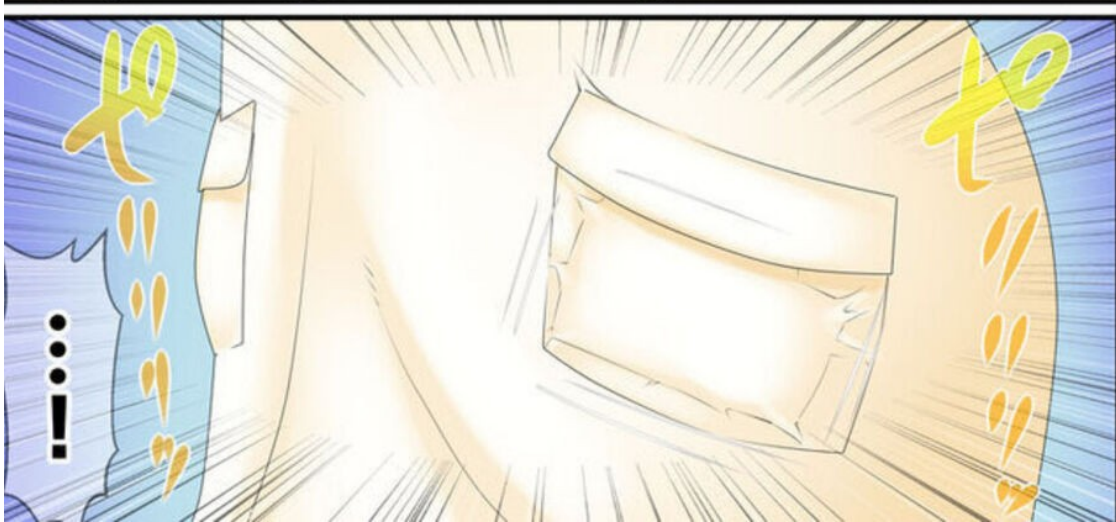
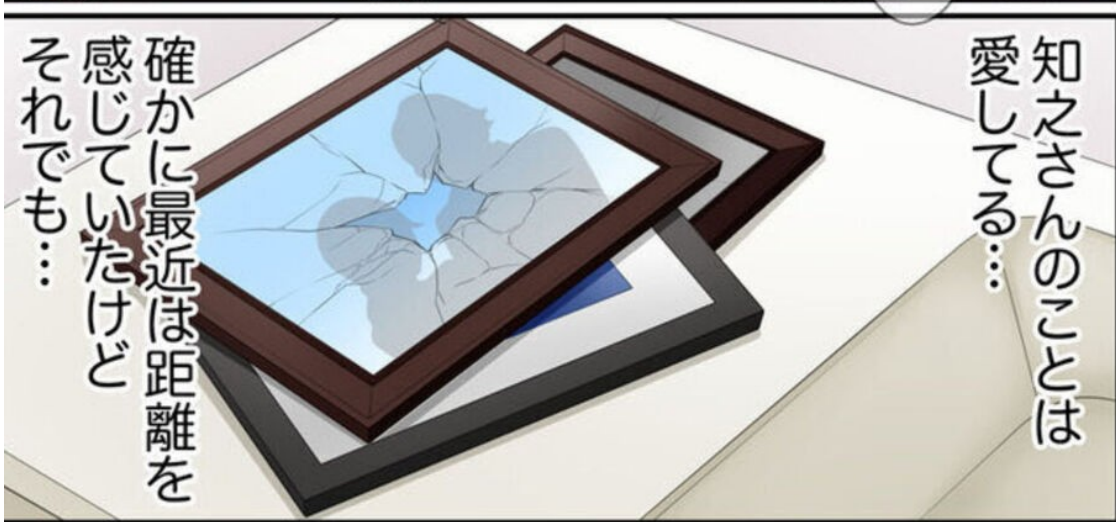
洗濯物…
干さなくちゃ

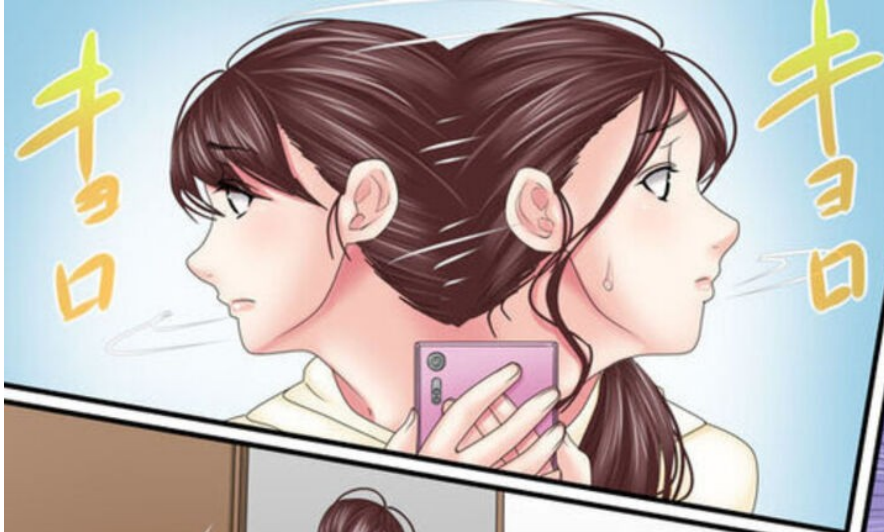
こんなことを友達や親にも
相談することができず

今日は
部屋干しね

私はひたすら知之さんの
帰りを待っていた







週末デートの約束は
生きてるよな？

えっ？…

ウソだろまさか
忘れたのか？

今日はその
週末だぞ

あ…ごめんなさい
私今それどころじゃ
ない状況で…

おい…何かあったのか？

その知之さんが…

『鶴野君には
肉緒で…だ』

つつ!!……

先生がどうか
したのか？

あえっと…
些細なことで
ケンカになって…

家出してるん
です…

ええ？
えっと…

雪音じゃなく
先生が？

えっ？そそう
なんですか？

ああ…

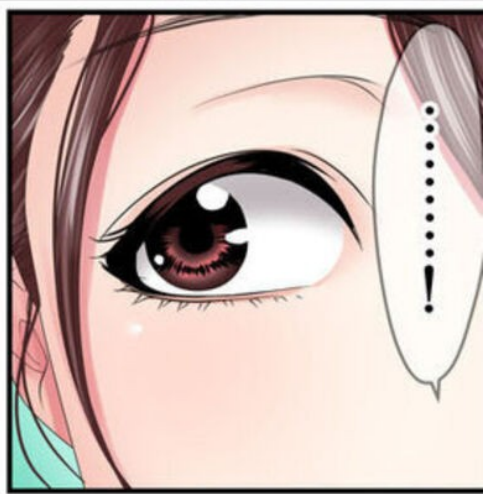
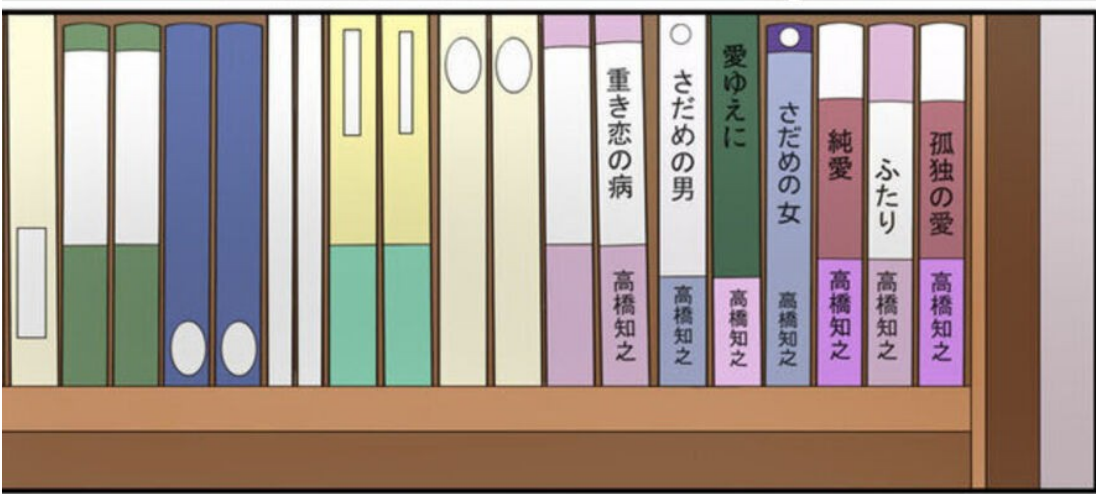
待てよ？…
ってことはだ…

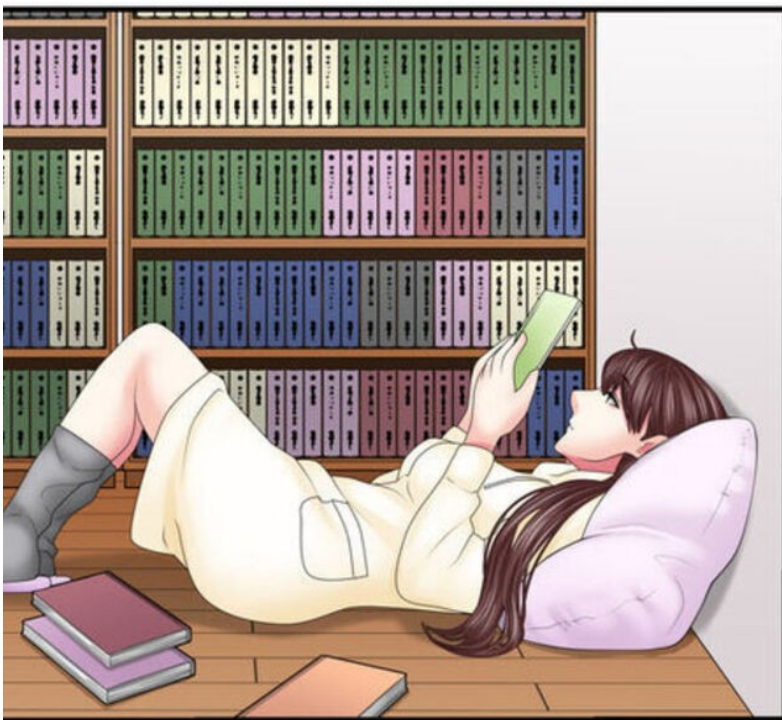
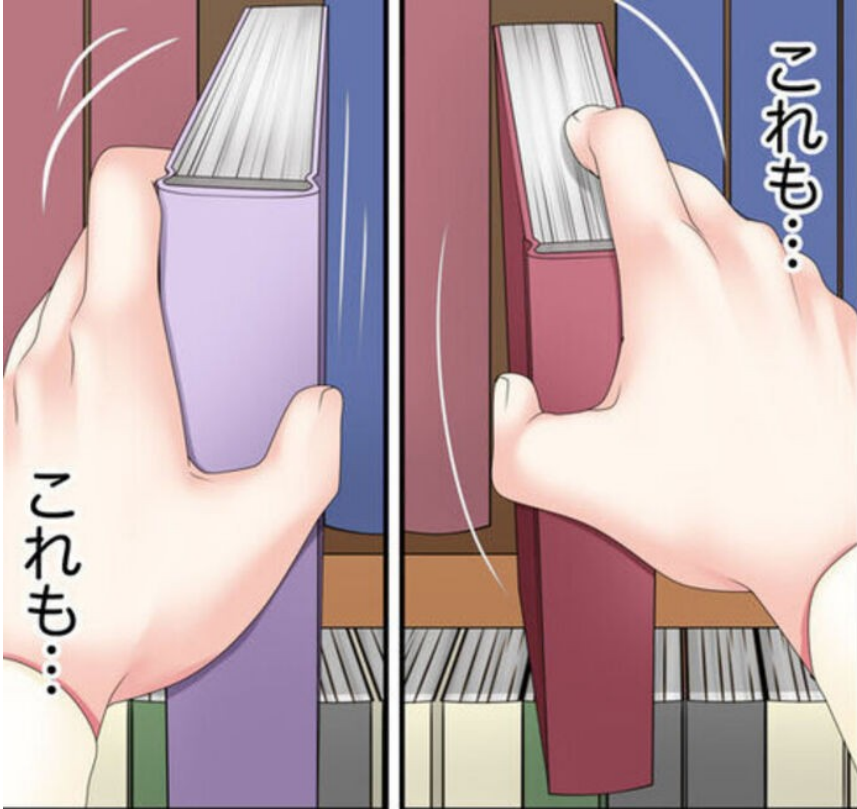
俺は今

でもちゃんと仕事の
やり取りはやってるぜ？

お前を奪い取る
絶好のチャンスに
いるってわけだ









ずっと読んでたら...

もぞもぞ♡♡



もぞ

もぞ

なんだか...



もぞ

もぞ

もぞもぞ!!



あつ

ん...

あつ...は...

もぞもぞ

もぞもぞ

くちゅ...

くちゅ♡

ぬち♡ぬち♡

あんっ...



...んっ...

もぞもぞ



ん...

...あ

すーすー♡





……そういえば



夫の小説を読んで
欲情するなんて……

私変態
なのかも……

いーん



ほー



『俺とお前でネタを作るんだ』



新作ってどんな
話なんだろう？

確か今ちようと書店の
雑誌に1話目が載ってる
はずだよな？

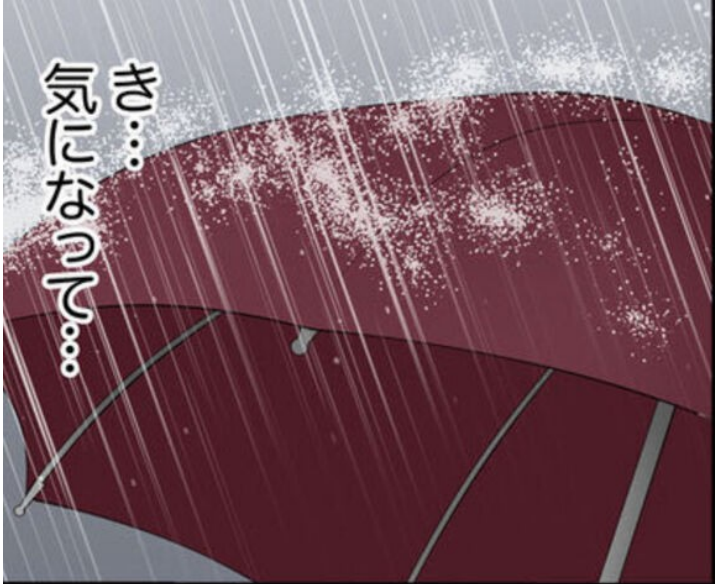


いーん

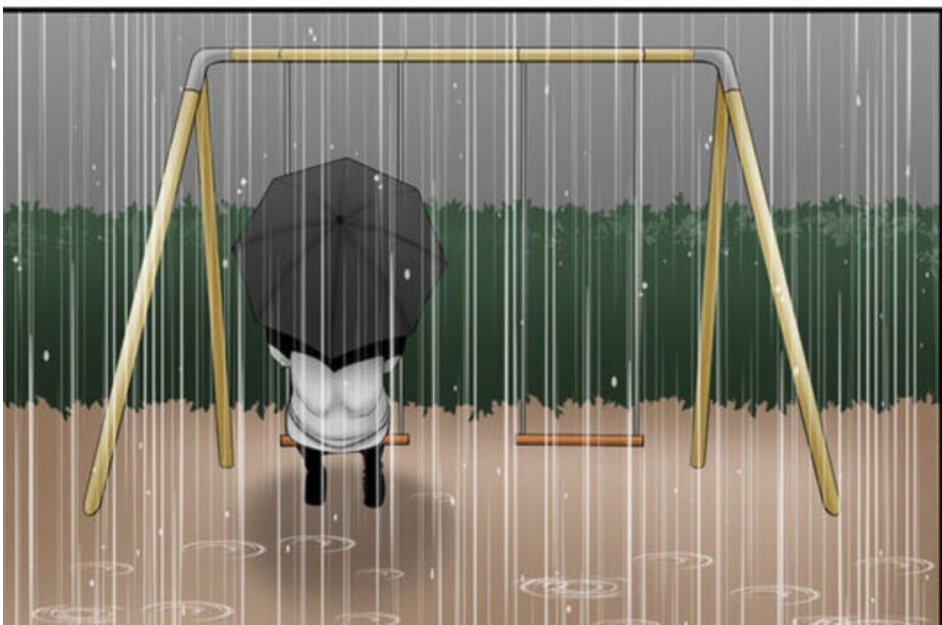


知之さんはそもそも
私の不倫現場を見て
書いたんだよね……

ど……どんな
内容なんだろう？



き…
気になつて…



雨の中に出てしまつた…

こんなときなのに
私ときたら…

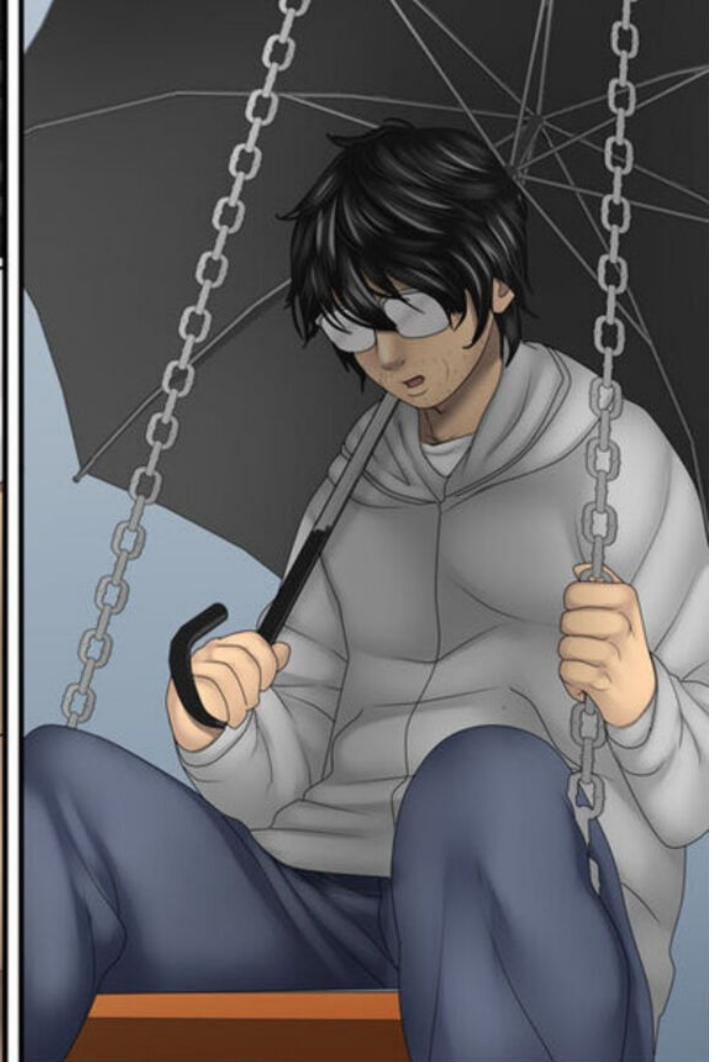


いつまでもネットカフェで
暮らすわけにはいかない...

今更どんな顔して
家に帰ればいいたろう?...:



帰るタイミングを
見失った...



ゆ雪音ちゃん!?

い...痛ったあ...い...

雨の日こんな
滑りやすい靴

履いてくるんじゃ
なかった...



きゃあっ!





To be continued



この不倫は夫のため
「あなた、許して…」と、寝取られる妻6

発行日 2019年 6月 1日

著者 ころすけ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。